

得点について

得点については、得点表(紙に)記入、得点板・得点ボード等を利用していますが、紙に記載の場合は、各選手や観客に対して見える(確認)状態なのか、記載時に確認にするだけなのか注意する必要があります。

得点板や得点ボードは、ある程度の場所から確認できる大きさのものを用いましょう。

得点板や得点表については、国際ペタンク・プロヴァンサル競技連盟や日本ペタンク・ブル連盟の競技規則には記載されていません

参考 スコアカードのつけ方

チーム名		得点	チーム名	
Aチーム			Bチーム	
選手名		①	1	選手名
			2	
		④	3	
			4	②
			5	
山田 花子	山田 太郎	⑤	6	③
			7	⑦
		⑥	8	
			9	
			10	⑧
			11	⑨
			12	
		⑩	13	
		13	スコア	11
山田		サイン	鈴木	

メーヌ数

- (ア)
- (イ)
- (ウ)
- (エ)
- (オ)
- (カ)
- (キ)
- (ク)
- (ケ)
- (コ)

得点記入 例

- ① 1メーヌ目にAチームが1点獲得
- ② 2メーヌ目にBチームが4点獲得
- ③ 3メーヌ目にBチームが2点獲得
- ④ 4メーヌ目にAチームが2点獲得
- ⑤ 5メーヌ目にAチームが3点獲得
- ⑥ 6メーヌ目にAチームが2点獲得
- ⑦ 7メーヌ目にBチームが2点獲得
- ⑧ 8メーヌ目にBチームが3点獲得
- ⑨ 9メーヌ目にBチームが1点獲得
- ⑩ 10メーヌ目にAチームが5点獲得

スコアカードには得点がはじめから記載されています。その得点に到達したのは何メーヌ目かを書いていくだけです。

Q、サインは右左どちらに書くのでしょうか？

A、結果に異論無しという意味合いですから、両者のサインがあればどちらに書いても構いません。

Q、記載後のスコアカードはどうする？

A、主催者の指示に従います。特に指示が無ければ勝者がカードのみ本部席へ持っていきましょう。

山形県内の大会は得点板を用います。

左右どちらを使用するが、点数の表記をどうするか試合前に確認をお願いいたします。

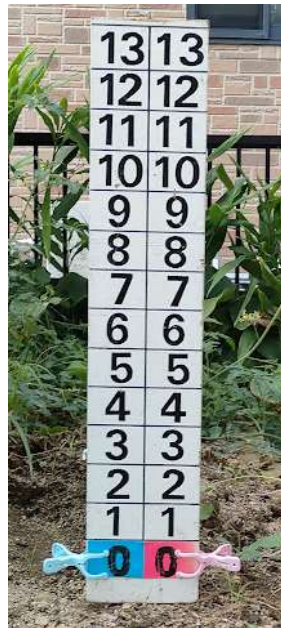
終了後はお互い確認し勝利チームが事務局に報告して下さい。
(大会競技規則)

得点	得点
0	13
1	12
2	11
3	10
4	9
5	8
6	7
7	6
8	5
9	4
10	3
11	2
12	1
13	0

得点板を用いる理由として

- ① 誰でも確認でき、試合の経過を安易に確認することができる。
- ② 試合中に点数を確認できるので、戦略をたてやすい等。

具体的には、写真のような手作りの得点板です。



得点板があると、戦略を立てやすいとは



現在の点数が、青が5点・赤が3点でメールの途中で青チームのボールが、ビュットに近づいた場合、どのように対処しますか？



得点板があると、点数がまだ少ないので、すぐテイルか寄せの判断がつかます。

紙への記載だと確認が必要です。



それと同時に、自分又はチームが技術が低くてティールが自信ない場合は、相手のボールの前にガードして、1点負ける(1点献上)という作戦も取れます。

でも、このような場合は技術のある・なしにかかわらず赤チームのボールが最後のボールになった場合は、ティールのみですが、青チームのボールに左右されます。



得点板や得点ボードを作っただけ、誰でも試合経過がわかるよう工夫していただければ幸いと存じます。
ご検討をお祈り申し上げます。